

## 様々なマシニングセンターに高いベルの精度を提供する 新しいコンパクトタッチプローブ

レニショーのRMP600は、無線信号伝達方式を採用するコンパクトな高精度タッチプローブで、自動ワークだしのメリットに加え、あらゆるサイズのマシニングセンターで複雑な3Dパーツ形状を測定する能力を備えます。頑丈な構造、実績あるソリッドステート電子回路と、干渉のない信号伝達方式を備えたRMP600タッチプローブは、最も過酷な機械環境での使用にも適しています。

レニショーにより特許取得済みのRengage™ ストレインゲージ技術を搭載したRMP600タッチプローブは、従来型プローブを使用する場合よりもはるかに優れた精度を実現することができ、高精度測定が要求されるアプリケーションに最適なプローブとなっています。Rengage™ 技術は、特許の検出機構と優れた電子回路を組み合わせ、長いスタイラスを使用する場合でも、起伏のある表面のサブミクロン単位の3D測定性能を提供します。



ストレインゲージを使用したRMP600は、通常よりもかなり低い測定圧力で安定してトリガーでき、スタイラスの撓みが小さく抑えられ、プリトラベル量がほとんどなくなることから、大幅な精度向上が可能になります。このような精度を備えながら、全体の頑丈さが損なわれることはなく、市場をリードするレニショーの他の工作機械用プローブと同レベルの耐衝撃性を備えています。

RMP600タッチプローブは、その性能が立証されたレニショーの周波数ホッピング・スペクトラム拡散(FHSS)方式による無線信号伝達方式を採用した

世界で2番目のタッチプローブです。この技術が既に搭載されたRMP600タッチプローブは、数々の賞を受賞し、現在世界で数多くのアプリケーションで使用されています。従来の無線信号伝達システムとは異なり、RMP600のFHSS伝達システムは専用の無線チャンネルを使用しません。この方式では、プローブと受信機は周波数ホッピングを行うため、複数のプローブシステムや他の工業設備装置と同時に設置することが可能です。



RMP600とRMI受信機を組み合わせることで、通信信号は長い距離を干渉の可能性がほとんどなく伝達可能です。FHSS伝達方式では、RMP600とRMIがいったん同期すると、周波数ホッピングを行い信頼性の高い通信を提供します。ラジオによるプローブ電源ONは、Mコード信号により利用することができます。このシステムは、EU、米国、日本、カナダ、スイス、オーストラリアをはじめとする多くの国々の無線規格に準拠しています。

レニショーのRMP600タッチプローブは、コンパクトサイズ、精度、信頼性、および堅牢性を兼ね備えた比類なき製品で、大型マシニングセンターや直線見通しが確保できずオプティカル信号伝達システムの使用が困難な他の機械でも高精度測定を実現します。コンパクトなプローブサイズにより、機械のZ軸ストロークを無駄にすることなく、背の高いワーク、高い位置にセットされたワークでも測定できることに加え、セットアップ時間の短縮、スクラップの低減、治具コスト削減、工程管理の信頼性向上、および機上測定での3D精度向上をはじめとするレニショータッチプローブのメリットを提供します。